



実行委員長の保田 茂さん



基調講演を行う中貝市長

第1回 生物の多様性を育む農業国際会議

International Conference for Enhancing the Biodiversity in Agriculture

アイセバ
(ICEBA2010)を豊岡で開催!!

7月2日から4日までの3日間、市民会館をメイン会場として、兵庫県や市、JAたじま、環境創造型農業に取り組む民間団体などで組織する実行委員会(実行委員長:兵庫農漁村社会研究所代表 保田 茂さん)主催の「第1回生物の多様性を育む農業国際会議(ICEBA2010)」が開催されました。

この会議は、平成12年から始まり11回目となる「日韓中環境創造型稲作技術会議」と、平成18年から開催され5回目となる「日韓田んぼの生きもの調査交流会」を統合し、開催されたものです。日本・韓国・中国の3カ国が中心となって、東アジアの風土における環境創造型農業の普及・拡大を目指すとともに、生物の多様性を重視し、自然循環機能を再生する農業技術や地域の取組みについての方向性を見出すことを目的としています。また、10月30日から本市で開催する「第4回コウノトリ未来・国際かいぎ」における分科会(農業分野)にも位置付けられています。

《問合せ》農林水産課 ☎23-1127



田んぼに入って生きもの調査を行う参加者



現地研修会で講師の説明に耳を傾ける参加者

生物の多様性を育む

農業を目指して

会議には、日韓中の農家や研究者、消費者など約400人が参加し、「環境創造型農業が環境の再生に果たす役割や技術的展望」「環境創造型農業の普及に関する関係機関の責務」「地域再生の課題」などに関する提案をもとに意見交換を行いました。

2日 ほ場視察・田んぼの生きもの調査

初日の2日は、現地研修として、市内の有機稲作ほ場視察と田んぼの生きもの調査が行われました。

ほ場視察では、同会議実行委員でNPO法人民間稲作研究所(栃木県)理事長の稲葉光國さんが、有機農業技術のポイントやほ場状況について説明し、また、生きもの調査では、同会議実行委員でNPO法人田んぼ(宮城県)理事長の岩瀬成紀さんが、生きもの調査の方法を説明しました。

参加者は、網などを手に田んぼや水路に入って調査を行い、コウノトリとの共生を目

指す豊岡の自然の豊かさを実感していました。

韓国の農業について報告する金種淑さん



3日 基調講演・各国報告・分科会

3日は、会場を市民会館とじばさん但馬に移し、各国からの実践報告やテーマごとに課題を議論する分科会が行われました。

全体会で中貝市長は、コウノトリ育む農法に代表される豊岡型環境創造型農業の取組みを紹介し、「多様な生きものを育む農地の役割を認識し、消費者に伝えていく必要がある」と基調講演を行いました。

また、有機農業を推進する韓国有機農業学会会長の金種淑さんからは、「有機農業を拡大

するには、田んぼの生きもの調査などを通して自然循環の仕組みを知り、農家だけではなく、消費者の協力を得なければならぬ」との報告がなされました。

分科会では、「有機農業と生物多様性に関する技術問題」「生物多様性農業と生きもの調査」「生物多様性農業を支えるむらひと仕事の再生」の3つのテーマについて、各国の農家や研究者による提案をもとに議論が行われました。市内からは成田市雄さん(森津)、根岸謙次さん(木内)、たじま農業協同組合米穀課の堀田和則さんが、それぞれの取組みについて実践報告を行いました。

分科会で実践報告を行う各国代表者



4日 分科会報告・共同宣言

共同宣言文を朗読する各国代表者



最終日は、各分科会からの報告がなされたあと、共同宣言が採択され、これからの農業のあるべき姿、方向性が確認されました。

〈共同宣言〉

- 各国の風土に即した環境創造型稲作の技術確立とその普及、実践に努力すること
- 地域生態系の保全に努め、生物多様性国家戦略の有力な担い手となるよう努力すること
- 自然の循環機能を生かした生物多様性農業に転換すること など

また、10月に名古屋で開催される生物多様性条約第10回締約国会議(COP10)への

提言をまとめ、3日間の日程を終えました。

〈COP10への提言〉

- 生物多様性の喪失は化学合成農薬の使用から始まった
- 農業が経済的評価以上に生物多様性を向上させている
- 自然を破壊しながら自国の食料を確保しようとしている
- 潮流の先には人類の未来はなく、各締約国がそれぞれの国の自然資源とその循環機能を生かした持続可能な農業の推進に向けて努力する必要がある など

次回、第2回同国際会議は、来年秋、アジアで初開催となる第17回世界有機農業大会の一環として、韓国京畿道楊平郡で開催されます。

総合討論で意見を交わすパネリスト

